

令和 8 年度

事業概要

－ 「学び」と「遊び」の活動交流拠点 －

前橋市児童文化センター

－ 目次 －

児童文化センターの特徴

- | | |
|-------------------|-------|
| 1 施設の特徴 | 1 ページ |
| 2 事業の特徴 | 2 ページ |
| 3 人材の特徴 | |
| 4 様々な機関や組織との連携の推進 | |

施設の概要

- | | |
|---------------|-------|
| I 前橋市児童文化センター | 3 ページ |
| II 前橋こども公園 | |
| III 開館時間・料金等 | |

令和8年度 事業の概要

- | | |
|------------------|-------|
| I 運営目標 | 5 ページ |
| II 本年度の重点施策 | |
| 1 交通・天文・環境教室の充実 | |
| 2 自然体験活動の充実 | |
| 3 科学・文化芸術教育活動の充実 | |
| 4 遊びの充実と多世代交流の推進 | |
| 5 施設管理 | 9 ページ |
| III 事業体系 | |

児童文化センターの特徴

○こどもにとって、本物の体験、専門的な学び、様々な人との関わりができるところ。遊びながら学べるところ。主体的に取り組み、自分の良さや成長を感じられる場所。

○市民にとって、安心してこどもと遊びにいけるところ。家族で様々な体験をしたり、遊んだりできるところ。また、ボランティアやその活動などを通して、様々な世代や多様な人と交流ができるところ。

○学校・園にとって、交通・天文・環境を学ぶところ。より質の高い学びができるところ。

1 施設の特徴

○前橋こども公園と一体化した教育施設

交通学習ゾーン、芝生広場、冒険遊びゾーン、建物のづくりなど、こどもの夢を育て可能性を広げる総合的な文化施設となっている。

○交通学習にふさわしい施設

交通学習ゾーンは体験的に交通ルールを学べる施設となっている。

○豊かな発想により使い方が広がる施設

ホール、フリースペース、ワークルーム、可動壁が設置された学習室など多様な使い方ができる施設となっている。

○「学び」も「遊び」も人から人へ

「学びも遊びも人から人へ」を基本コンセプトとして整備され、こどもの活動自体がこども自身、指導者、活動を目にする者にとって「文化の形」となるよう、体験型の企画や人と人との関わることを重視した事業を実施している。

○建物自体が教材で、仕組みが見える造り（エレベーター、のぞき窓など）

○教育的価値を大切にしたプラネタリウムがある施設

実際のものに近い星空を再現できる光学式と多様な表現のできるデジタル式を融合させたハイ



ブリッド型プラネタリウム。全国的にも数少ない意図的・計画的な自主番組制作，職員の生解説，学校・園と連携した学習投影など，プラネタリウムを中心として，こどもだけでなく多くの市民の興味関心を高めたり，学びが深まったりするよう工夫されている。

○自然と環境，自然エネルギー等について学べる施設

- ・水力発電・風力発電・太陽光発電装置，太陽光採光システム，雨水利用システムなどの設備を直接見て環境について考えることができる。
- ・公園内の様々な種類の樹木，植栽，メダカや多種の水生生物のいるビオトープや水田など，地域の自然環境を生かした自然や環境に関する学習ができる。

○240 台の駐車場完備

- ・混雑時には第二駐車場（第二中跡地）も開放している。

2 事業の特徴

- 多様な文化活動（科学，文化芸術，交通安全，環境教育，自然体験等）を実施し，こどもたちの科学・文化活動の中核となる事業の実施。
- 体験的な活動を重視した事業の実施。
- 学校・園と連携（教育課程にかかわる事業，学校外活動の推進）した事業の実施。
- 社会教育施設として，学校教育ではできない科学・文化的活動やこどもの興味に応じた専門的な学び，ボランティアや多様な人材が関わる体験活動などの事業の実施。
- こどものまち前橋の子育てに関する施設として，こどもだけでなくこどもを持つ家庭にとっても利用しやすく学びのある事業の実施。

3 人材の特徴

- 教職関係者に加え，幼稚園・保育士，養護等の資格所持者，公民館で市民主体の事業を経験した者など多彩な職員が勤務し，充実した指導ができています。
- 他施設での勤務経験や予算執行などの行政経験の長い職員が勤務し，計画的な施設管理や適正な予算編成や執行ができています。
- 3人の技士による安全で信頼できるバス運行および迅速かつ実態に合った施設管理ができています。
- こどものものづくりを支援する学生スタッフ，公園でのこどもの遊びを支援する公園指導員がこどもの豊かな体験活動を支援しています。
- 教員や専門知識を持つ講師がこどもへの指導を行っている。
- 一般ボランティア，学生ボランティアなど多くのボランティアがこどもや来館者の体験支援や館の管理などに活動しています。

4 様々な機関や組織との連携の推進

○行政（教育委員会事務局以外）

公園緑地課・公園管理事務所等前橋市各部課，県環境政策課，県渋川森林事務所 等

○施設・機関

赤城少年自然の家，国立赤城青少年交流の家，各公民館，前橋東警察署，前橋市消防局，ぐんま
昆虫の森，ぐんま天文台 等

○大学等

群馬大学，前橋工科大学，共愛学園前橋国際大学，高崎健康福祉大学、勢多農林高校，群馬工業
高等専門学校 等

○団体等

前橋市文化協会，商工会議所，青年会議所，前橋東ロータリークラブ，前橋市民音楽連盟，群馬
県少年少女合唱団連盟，発明協会，前橋テクノフォーラム，ぐんま緑のインタープリター協会，
ぐんま山森自然楽校，県プラネタリウム連絡協議会，日本宇宙少年団前橋分団，体験の風をおこ
そう実行委員会 等

（順不同）

施設の概要

I 前橋市児童文化センター

1 名称及び所在地

前橋市児童文化センター T E L (0 2 7) 2 2 4 - 2 5 4 8

F A X (0 2 7) 2 4 3 - 8 3 6 1

前橋市西片貝町五丁目 8 番地

2 目 的

前橋のこどもたちの科学及び文化芸術に対する理解と関心を高め、心身の健全な育成を図る。

○コンセプト

まちなかの身近な「学び」と「遊び」の活動交流拠点として、科学・文化、環境、自然体験

活動等を通し、こどもたちの夢を育て可能性を広げる総合文化施設とする。

3 開 館

平成 24 年 1 月 (旧館開館 昭和 44 年 10 月)

4 施設の規模及び構造

○敷地面積 38,500 m² (前橋こども公園を含む)

○構 造 鉄筋コンクリート地上 2 階建て

○規 模 建築面積 1,635.28 m²

延床面積 2,783.51 m² (ほかゴーカート棟 452.86 m²、倉庫 6.25 m²)

○館内施設

フロア	主な施設・部屋名
1 階	エントランスホール、プラネタリウム、ほしのみち、みんなのホール わくわくひろば、わくわくアクア、ワークルーム 1、キッズショップ
2 階	どれみふぁルーム、はっけんラボ、つくるーむ、スペース eco、ワークルーム 2
屋 上	おひさま広場、ほしの広場

○事業費 905,094,750 円 (本体及び外構等工事費)

Ⅱ 前橋こども公園

1 名称及び所在地

前橋こども公園 前橋市西片貝町五丁目 7 番地・8 番地

2 公園内の施設

管理ヤード，ゴーカートゾーン，交通学習ゾーン，水辺観察ゾーン，観察の森ゾーン

芝生広場ゾーン，エントランスゾーン，雑木林と文学のゾーン

駐車場（普通車 240 台，大型バス 3 台）

冒険遊びゾーン（平成 26・27 年度，令和 3 年度に新たな遊具を製作・設置）

音のステージ（平成 28 年度），時の広場「日時計」とメダカロードの設置（令和元年度）

3 ゴーカート

○ガソリンゴーカート（11 台），E V ゴーカート（1 台） ○1 周：約 700m

Ⅲ 開館時間・料金等

1 開館時間

午前 9 時～午後 4 時 30 分（夏季休業中は午後 5 時まで）

2 休館日

毎週月曜日・毎月第 2 木曜日（祝日の場合は翌日）

12 月 29 日～1 月 3 日

3 入館料：無料

(1) プラネタリウム観覧料

一般投影：小中学生 100 円

高校生以上 310 円

未就学児 無料

団体投影：20 人以上の団体利用者

小中学生 80 円

高校生以上 250 円

* 障害者手帳等持参（付添人 1 人含む） 無料

(2) ゴーカート料金

一周 200 円（8 年度より）



マイボトルサーバー



プラネタリウム



ゴーカート

令和8年度 事業の概要

I 運営目標

- ・こどもたちの文化活動の中核として、科学的な原理・法則や環境保全について総合的・体験的に学ぶ活動や、文化芸術に触れたり自己表現をしたりする活動、交通安全教育、多様な体験や交流活動の機会の充実等に係る事業などを行い、多様な人とかかわりながら、個性を生かし、夢に向かって主体的・創造的に活動するこどもの育成を目指す。
- ・事業の一層の充実のため、来館者の意見や実態もふまえて満足度の高い教室や活動を目指す。

II 本年度の重点施策

1 交通・天文・環境教室の充実

(1) 交通教室の充実

[目標・ねらい]

- 全小学校4・6年生及び希望する中学校・特別支援学校を対象に自転車教室を実施することにより、交通事故を防止しようとする態度や能力を育てる。
- 幼稚園・保育所(園)・特別支援学校等を対象に歩行教室を実施することにより、交通事故を防止しようとする態度や能力を育てる。

[今年度の重点]

①小学校・中学校・特別支援学校

- ・交通ルールを守り、正しい安全確認の仕方を理解して安全に自転車走行ができるよう、指導方法の改善や適切な指導・助言を工夫する。
- ・自転車に不慣れな児童の練習の場を設け、引率者が指導できるよう、乗り方の助言、職員配置等の工夫、指導方法の改善に努める。
- ・自転車に乗る経験が少ない児童のため「親子自転車乗り講習会」を開催し、操作習熟を図る。

②幼稚園・保育所(園)・特別支援学校

- ・入園、入学後の安全な登下校のため、年長児等を対象として道路の歩行を重点に実施していく。

(2) 天文教室の充実

[目標・ねらい]

- プラネタリウムの機能を活用した天文教室を実施することにより、こどもたちの宇宙や天体への理解を深め、観察への意欲を高める。
- 実際に天体を観察することも天文教室を実施することにより、こどもたちの天体に関する興味・関心を高める。

[今年度の重点]

①小学校

- ・事前打合せによる理科の授業の現状把握と、学校ごとの実態に応じた展開や理科授業者の参加を引き続き促すとともに、充実に向けたタブレットPCを含むICTの効果的活用方法を含め内容の改善に努める。
- ・こども天文教室では、実際の天体観察を通して宇宙や天体への興味・関心の向上を図るとともに、学校の理科学習につなげられるよう努める。

②幼稚園・保育所（園）

- ・施設長合同会議・保育所長会議・Web ページ等での情報提供や事前打合せ等による適切な番組選択、実態に応じた星空解説に努める。

(3) 環境教室の充実

[目標・ねらい]

- 児童文化センターの自然や施設、学校の環境を活用した主体的・対話的な環境教室を実施することにより、学校における環境教育の充実を図り、環境に対する児童の関心・意欲を高める。

[今年度の重点]

- ① 各学校の教育課程に対応した柔軟な事業対応
 - ・実施内容を家庭に周知し、家族と一緒に環境保全について考えられるようにする。
 - ・学習展開、教材などを指導担当者で話し合い、内容の改善を図る。
 - ・児童文化センターの自然や施設を利用した環境教育を推進するために、「児童文化センター環境マップ」の活用方法を検討し、研修会等で周知を図る。
- ②学校の環境教育充実のための外部との連携強化
 - ・教科や環境教育に「環境教室」を位置付けるよう依頼し、ニーズに応じた支援を実施する。
 - ・学校教育課と連携し、環境教育主任会への情報提供や教育内容に関わる支援に努める。
 - ・県環境森林課などと連携して専門的知識をもつ担当職員を講師に招聘し、より深い学びを実現していく。

2 自然体験活動の充実

[目標・ねらい]

- 効果的な活動例の提示や活動内容についての相談などを行うことにより、学校等の児童生徒主体の自然体験活動を支援する。
- 活動内容に合った人材の紹介や自然体験活動講師の派遣等を行うことにより、学校や林間学校における自然体験活動の推進を図る。
- 教員に対する自然体験活動の研修を実施することにより、自然体験活動の充実を図る。

[今年度の重点]

- ①学校対象
 - ・事前・事後の活動の進め方や有効活用への助言、具体的アドバイスを行うなど、積極的なコーディネートを進める。
 - ・指導の展開事例を再検討し、児童生徒がより主体的に取り組み、関心や意識を高められるよう内容の充実を図る。
 - ・講師や事例の紹介などで、林間学校以外の自然体験活動も推進する。
 - ・講師と連携作成した「森のパワーを探してみよう」を活用した実践事例を評価・検証し、さらに内容の充実を図る。
- ②一般市民対象
 - ・指導者と活動について事前によく確認し、より充実した自然観察会やネイチャークラフト、親子トレッキング等を実施する。

3 科学・文化芸術教育活動の充実

(1) クラブ活動の充実

[目標・ねらい]

○科学・文化芸術に関する様々なクラブ(環境冒険隊・宇宙・ジュニアオーケストラ・合唱団・演劇・発明)を実施することにより、こどもたちの個性や能力を伸ばし、人と関わる力を育てる。

[今年度の重点]

- ・豊かな体験の場、自らの成長を実感できる主体的活動の場となるよう、活動内容の精選や改善を図る。
- ・指導教員の資質向上の場として、学校教育課、総合教育プラザと連携した講師育成や一般講師の人材開拓に努める。
- ・充実した活動を維持し継続するため活動場所の確保等担当者間の連携を密にする。

(2) 多様な科学・文化芸術に関する教室の充実

[目標・ねらい]

○科学・文化芸術に関する教室(夏季教室、わくわく教室等)を実施することにより、こどもたちの興味・関心を広げ、多様な体験活動を推進する。

[今年度の重点]

- ・こどもたちの多様な体験活動の支援を行う市民活動を支援し、連携・協働・情報交流を進める。
- ・環境教育やSDG sを視野に入れた新しい教室の実施を引き続き検討する。
- ・実施状況や内容を参加者に伝えるWeb ページやInstagramなど広報の充実や、閲覧の働きかけを継続する。

(3) プラネタリウムの番組の制作と投影

[目標・ねらい]

- 年間6番組更新される自主制作プラネタリウム番組の提供と、対話型の星空解説を取り入れた質の高いプラネタリウム投影を実施することにより、観覧者の天文への興味・関心を高める。
- 市民天文教室やプラネタリウムコンサートなど、投影の内容や方法を工夫することにより、多くの市民が宇宙や天文現象に触れる機会を提供する。

[今年度の重点]

- ・天文現象等の情報交換、時季に応じた星座解説などの計画的な研修により、職員の能力向上を図る。
- ・番組制作に携わる市民との連携を密にして、充実した内容で分かりやすい番組を制作してい

- く。
- ・プラネタリウムコンサートの実施方法を引き続き検討する。
 - ・プラネタリウムデビューを実施し、幼児を連れた家族にも安心してプラネタリウムを観覧できる機会を提供する。
 - ・4Kプロジェクタ導入に伴い、番組に関連した映像や前橋の紹介映像等、4K動画の効果的な活用について検討する。
 - ・団体投影の対象を広げていくための周知方法を検討する。

4 遊びの充実と多世代交流の推進

(1) 各種イベントや体験的な事業の推進

[目標・ねらい]

- 「わくわくチャレンジコーナー」「冒険遊び場」などを実施することにより、こどもたちの体験活動を充実させる。

[今年度の重点]

- ・こどもたちの主体性を育む活動となるよう、企画の見直し、指導内容の検討・確認、講師との事前打合せを十分に実施する。
- ・「わくわくチャレンジコーナー」指導に参画する大学生を募集してコーナーの継続に努め、体験活動を充実させるよう講師研修を継続実施する。
- ・ボランティア参画によるイベントや活動の充実を図り、体験活動の拡充に努める。

(2) 交通安全に関わる体験の充実・こども公園の活用

[目標・ねらい]

- ゴーカートや足踏みカートを運行することにより、こどもたちが遊びを通して交通ルールやマナーについて学ぶ機会を提供する。
- 芝生広場、交通学習ゾーン、大型遊具、冒険遊びゾーンなど、「学び」と「遊び」の場を提供し、こどもたちの健全育成を図る。

[今年度の重点]

- ・公園内の歩行や足踏みカートなどを活用して交通ルールやマナーが学べるよう、公園指導員を配置し、引き続き指導の充実を図る。
- ・ゴーカートにおいて交通ルールやマナーを学びながら安全な利用が図れるよう、実際の運用等を考慮しながら適宜検討を行う。
- ・冒険遊びゾーン内遊具は、職員の日常点検ほか適正な点検・補修を行い、安全な運営を継続する。

(3) 市民力の活用と多世代の交流

[目標・ねらい]

- 様々なイベントや「冒険遊び場」、館内事業において、ボランティアの会・一般ボランティア・学生ボランティアの活動の場を設定し、市民力の活用を推進する。
- 多世代のボランティアが交流できる場を充実させることにより、世代間交流を推進する。

[今年度の重点]

- ・ボランティアの会と情報共有や連携を図り、活動の活性化や自主的企画・運営に対して支援を行う。
- ・職場体験学習やインターンシップの充実を図るとともに、これらの取組機会において受け入れた学生等に対してもボランティア活動への参加を促す。

5 施設管理

[目標・ねらい]

- 安全安心に利用でき、未来にわたり市民から愛される施設にできるよう、施設・設備全体の管理計画に基づき、適切な修繕等を実施する。
- 公園管理事務所などの関係課と連携し、安全な環境の維持管理を行う。

[今年度の重点]

- ・令和7年度にごみ政策課、環境政策課と連携し、熱中症予防・環境保護のため館内にマイボトルサーバーを設置し、さらに児童文化センターをクールシェアスポットに登録し、児童や来館者が快適に過ごせる環境を引き続き整えていく。
- ・児童の交通天文教室等の送迎に使用しているマイクロバスは、老朽化により、令和8年度の計上された予算で更新する。
- ・ゴーカートの利用料は、諸経費の高騰により、約30年ぶりに価格を引き上げ令和8年度から1回100円から200円とした。価格上昇による利用者数の変化に注視するとともに、適正な運行管理に努める。
- ・こどもたちに人気の「ふわふわドーム」については、公園管理事務所により令和8年度内に更新工事が完了する見込みとなった。
- ・児童文化センターインスタグラムを一層活用し、PRに努める。

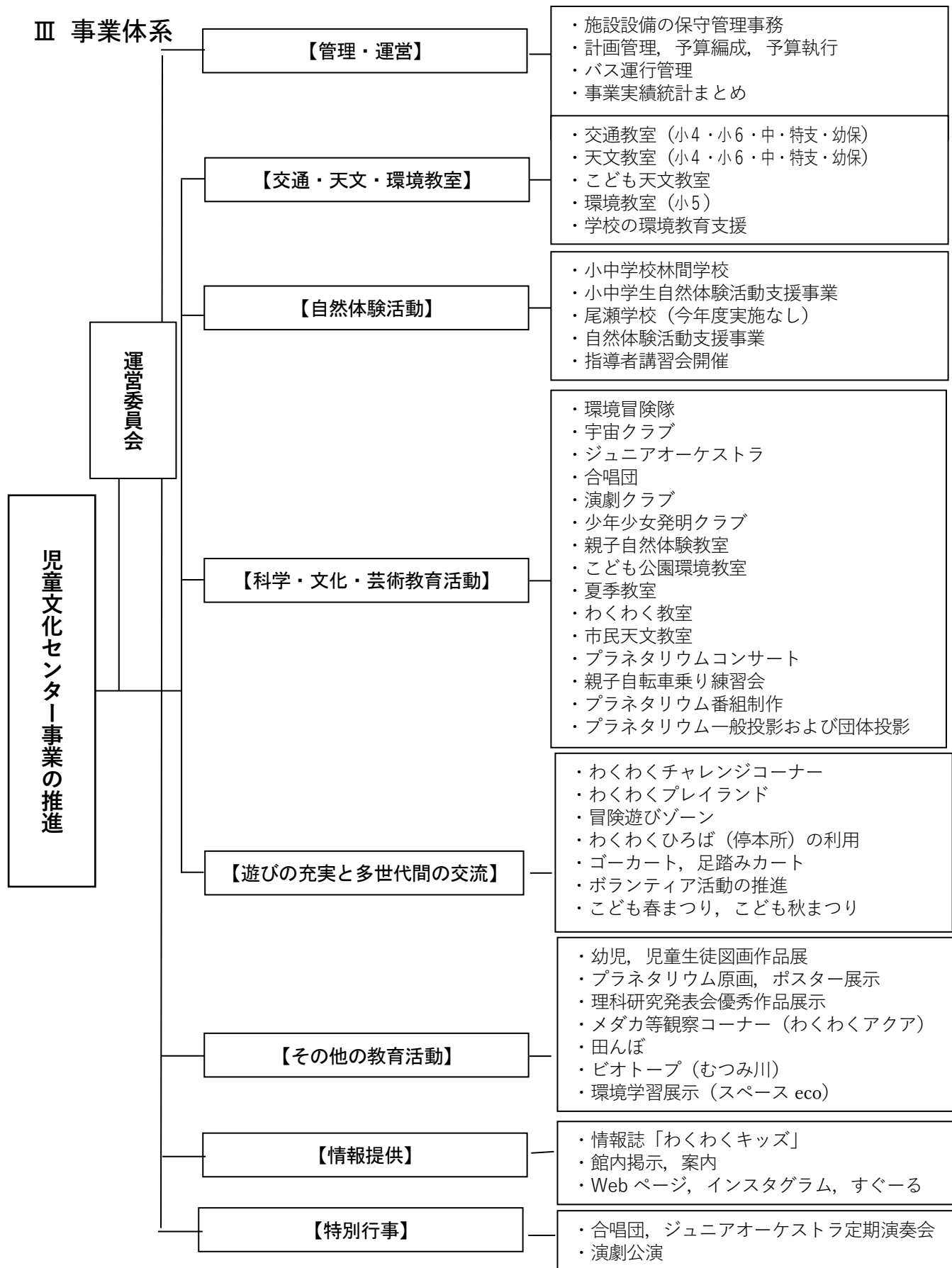
6 予算関係

[目標・ねらい]

- 予算の適正な執行管理に努める。
- 広告収入やふるさと納税等の財源確保策に継続的に取り組む。

[今年度の重点]

- ・施設の老朽化に伴う修繕や備品の購入等について、優先順位付けや内容の精査を行い、次年度に効果的に実施できるよう予算要求を行う。
- ・ふるさと納税等財源確保のため、関係課との連携のほか事業PRなどに積極的に取り組む。



※事務局：前橋少年少女発明クラブ, 野メダカを育てる会